

新・こどもと健康

No.86

2024.3.1

4月1日からの五種混合、15価肺炎球菌ワクチンの要点

五種混合ワクチンについて

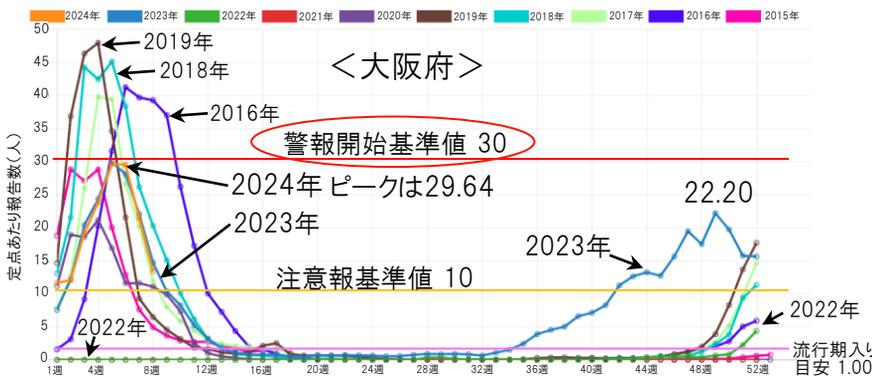
- ①五種混合ワクチンは「ヒブワクチン」と「四種混合ワクチン」が1本になったものです。注射の回数を4回減らすことができます。「ゴービック」と「クイントバック®」があります。
- ②これまでにヒブワクチンや四種混合ワクチンを開始している人には使えません。
- ③皮下注射だけではなく、筋肉注射にも使用できます。
- ④ヒブワクチンの定期接種期間は5歳未満まででしたが、四種混合ワクチン側に合わせて、五種混合ワクチンは7歳6か月未満までになります。
- ⑤ヒブワクチンの初回接種の間隔は4～8週間でしたが、四種混合ワクチン側に合わせて、五種混合ワクチンでは最短3週が可能になります。標準的な接種間隔は4～8週間です。
- ⑥ヒブワクチンの初回接種3回目から追加接種までは7か月以上でしたが、四種混合側に合わせて、五種混合では最短6か月になります。

15価肺炎球菌ワクチンについて

- ①13価肺炎球菌ワクチンにさらに2つの血清型を追加したものです。接種回数、接種間隔等は同じです。
- ②13価ワクチン「プレバナー」が15価ワクチン「バクニュバンス®」に切り替わります。途中からも接種可能です。
- ③皮下注射だけではなく、筋肉注射にも使用できます。

出典：厚生労働省HP『5種混合ワクチン、小児に対する肺炎球菌ワクチン及び新型コロナワクチンについて(第55回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 2024(令和6)年2月5日)』、堺感対第5427号『令和6年度の定期予防接種について(情報提供)(令和6年2月26日)』

大阪府はインフルエンザ警報ギリギリ回避、堺市では発令あり



2024年に入ってインフルエンザBが流行し、インフルエンザの定点当たりが大阪府では1月29日から2月4日の週に29.64のピークを迎えました。ギリギリ警報が出ませんでした。堺市は同じ週に34.00で警報が発令されました。翌2月5日から11日の週の34.17がピークでした。流行

は収まりつつあり、2月19日から25日の集計で、インフルエンザによる大阪府の公立保育所・幼稚園・小・中学校・高等学校の休校0施設、学年閉鎖延べ26施設、学級閉鎖延べ208施設でした。

出典：大阪府感染情報センターHP『インフルエンザ定点当たり患者数10年間の比較』『インフルエンザ施設別発生状況【2023/24シーズン 第25報 2月19日～2月25日】』

当科の2023-24年インフルエンザ状況



当科のインフルエンザの状況は、1月11日からB型の方が出始め、段々とA型とB型が入れ替わっていきました。2月1日から28日までの期間にA型が8名、B型が55名でした。2023年8月16日から2024年2月29日では、A型が延べ197名、B型が79名になっています。

年長児さん、MRワクチンは済んでいますか？

新型コロナワクチンは3月31日まで

2023年9月20日から始まっていました、令和5年秋開始接種(追加接種)は3月31日(日)で終了します。初回接種も同様に終了します。当科では6か月から4歳の乳幼児用を特定の水曜、5～11歳の小児用を特定の日曜、12歳以上用は週1～2回程度行っています。

高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種経過措置は令和5年度まで

平成26年10月から予防接種法に基づき65歳の方を対象に定期接種化され、その時点で66歳以上だった方の接種機会を確保するために経過措置として各年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方が定期接種の対象でした。令和6年度からは堺市在住で接種日に満65歳の方と60歳～64歳で心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に一定の障害を持つ方だけが定期接種の対象になります。堺市独自の66歳以上の方の任意接種は令和6年度を最終年度とする予定との通知がありました。

出典：堺感対第5427号『令和6年度の定期予防接種について(情報提供)(令和6年2月26日)』

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に

2023年4月から9価子宮頸がんワクチンを定期接種で使用可能に

当科は大阪府の外来対応医療機関です

2023年3月の診療時間帯(予告なく変更する場合があります)

9:00～9:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
9:30～12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30～19:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無断キャンセルしないでください。他の方の受診機会を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率						
R4.2/2~	10	3+0	30%	6/13~	3	0+0	0%	10/24~	11	1+0	9%	3/6~	9	1	11%	7/18~	22	7	32%	11/27~	5	0	0%
2/7~	21	10+4	56%	6/20~	10	1+0	10%	10/31~	11	0+0	0%	3/13~	11	0	0%	7/24~	35	13	37%	12/4~	9	0	0%
2/14~	11	4+0	36%	6/27~	8	1+0	13%	11/7~	14	2+0	14%	3/20~	9	0	0%	7/31~	23	7	30%	12/11~	11	0	0%
2/21~	5	3+0	60%	7/4~	11	4+1	42%	11/14~	10	3+0	30%	3/27~	13	0	0%	8/7~	26	7	27%	12/18~	8	0	0%
2/28~	21	13+1	64%	7/11~	31	14+0	45%	11/21~	19	1+0	5%	4/3~	8	0	0%	8/16~	21	2	10%	12/25~	3	0	0%
3/7~	14	4+3	41%	7/18~	36	13+0	36%	11/27~	18	5+0	28%	4/10~	10	0	0%	8/21~	11	6	55%	R6.1/1~	4	0	0%
3/14~	14	6+2	50%	7/25~	47	13+6	36%	12/5~	14	3+0	21%	4/17~	12	0	0%	8/28~	18	3	17%	1/8~	15	3	20%
3/21~	13	6+1	50%	8/1~	23	12+4	65%	12/12~	19	3+0	16%	4/24~	10	0	0%	9/4~	26	4	15%	1/15~	19	5	26%
3/28~	10	0+0	0%	8/8~	15	6+3	50%	12/19~	17	6+0	35%	5/1~	5	0	0%	9/11~	26	4	15%	1/22~	32	6+2	24%
4/4~	9	1+0	11%	8/16~	20	11+6	59%	12/26~	7	1+0	14%	5/8~	8	0	0%	9/18~	21	2	10%	1/29~	28	2	7%
4/11~	18	2+0	11%	8/22~	27	8+2	34%	R5.1/2~	14	2+0	14%	5/15~	20	2	10%	9/25~	23	2	9%	2/5~	38	3	8%
4/18~	14	3+0	21%	8/29~	10	4+2	50%	1/9~	12	3+0	25%	5/22~	11	0	0%	10/2~	25	8	32%	2/12~	14	2	14%
4/25~	21	7+3	42%	9/5~	18	3+2	25%	1/16~	33	6+0	18%	5/29~	4	0	0%	10/9~	19	0	0%	2/19~	21	1	5%
5/2~	9	1+0	11%	9/12~	26	3+1	15%	1/23~	22	3+0	14%	6/5~	7	0	0%	10/16~	17	2	12%	計、平均	1,672	325+49	22%
5/9~	18	2+2	20%	9/20~	7	2+1	38%	1/30~	22	2+0	9%	6/12~	11	2	18%	10/23~	11	2	18%				
5/16~	10	1+2	25%	9/26~	23	6+1	29%	2/6~	17	0+0	0%	6/19~	14	1	7%	10/30~	21	0	0%				
5/23~	14	3+0	21%	10/3~	17	3+0	18%	2/13~	3	0	0%	6/26~	7	2	29%	11/6~	4	0	0%				
5/30~	8	0+0	0%	10/11~	16	3+0	19%	2/20~	6	0	0%	7/3~	16	3	19%	11/13~	6	0	0%				
6/6~	9	1+0	11%	10/17~	18	4+0	22%	2/27~	9	0	0%	7/10~	21	1	5%	11/20~	11	0	0%				

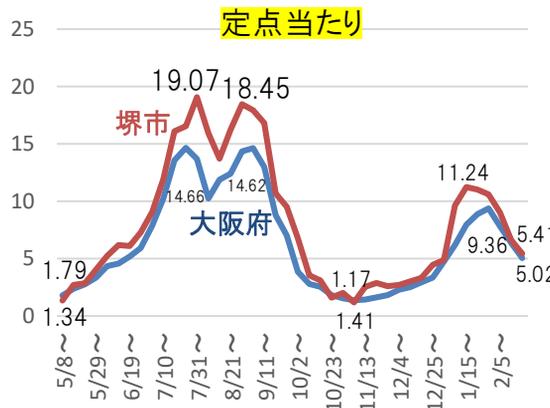
当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。第10波としては2024年1月8日の週から出始め、1月22日の週にみなしを含めて8名陽性でした。その後も少しずつおられます。

新型コロナウイルス感染症の定点報告はピークアウト

定点報告数

大阪府	堺市	大阪府	堺市		
R5.5/8~	515	39	10/2~	1,179	196
5/15~	686	78	10/9~	849	102
5/22~	797	82	10/16~	771	90
5/29~	968	117	10/23~	555	46
6/5~	1,256	152	10/30~	471	58
6/12~	1,324	179	11/6~	414	34
6/19~	1,506	177	11/13~	429	73
6/26~	1,754	211	11/20~	493	83
7/3~	2,330	263	11/27~	558	75
7/10~	3,036	346	12/4~	695	78
7/17~	4,028	467	12/11~	763	87
7/24~	4,399	480	12/18~	893	96
7/31~	4,093	534	12/25~	1,026	129
8/7~	3,078	446	R6.1/1~	1,444	141
8/14~	3,576	384	1/8~	1,891	279
8/21~	3,744	455	1/15~	2,436	326
8/28~	4,361	535	1/22~	2,718	319
9/4~	4,458	520	1/29~	2,863	307
9/11~	3,961	488	2/5~	2,400	261
9/18~	2,677	310	2/12~	1,958	192
9/25~	2,148	276	2/19~	1,540	157

大阪府で約307、堺市で約29医療機関



新型コロナウイルスの定点報告は12月下旬頃から加速的に悪化し、1月15日からの週に堺市で11.24、1月29日からの週に大阪府で9.36まで上昇したあと、低下してきています。ピークアウトしたと思われます。

出典：大阪府感染症情報センターHP 『新型コロナウイルス感染症 発生状況 2023年 第19週～2024年 第8週』

3月・担当医の変更

なし